

正しい装備の準備・点検

《これだけは持っていこう！》

※必要な装備は行程や季節によっても異なります。下記のものだけでなく、その時々必要なものをしっかり揃えた上で、安全に登山を行きましょう。それぞれの装備が壊れていないか、出発前の確認も大切です。

- ①登山に適した服装 帽子、長袖シャツ、ズボン、手袋など。夏には速乾性の高いもの、冬には保温性に優れたものなど、季節に応じて登山に適したウェアを揃えましょう。
- ②登山靴 スニーカーではなく、滑りにくく足をしっかり守ってくれる靴が必要です。
- ③レインウェア・雨具 山の天気はとても変わりやすいもの。晴れていても必ず携帯しましょう。
- ④防寒着 里に比べて山では気温がぐんと下がります。季節に合わせてジャケットやフリース、ダウンなどを携帯しましょう。
- ⑤ザック 背負ってみて自分の体にフィットするものを選びましょう。
- ⑥食べ物・飲み物 行動しながら簡単に食べられる物、少し多いかなと思うぐらいの十分な量の飲み物を持っていきましょう。
- ⑦地図・コンパス 道に迷わないために絶対に必要です。
- ⑧ヘッドランプ ヘッドランプがないと、万が一暗くなった時に行動不能となります。
- ⑨救急セット・非常食 テーピングやサバイバルシート、予備の食料など、緊急時に生き続けるために必要なものを揃えましょう。
- ⑩熊よけの鈴 東京の山には熊が生息しています。熊に会いたくない時は、必ず音のなるものや熊よけの鈴を携帯しましょう。



ヤマドリさんにはビックリ！！！！

静かな山道を歩いていると、いきなり足元から飛び立ち、その羽ばたく音に何事かと驚かされます。

じっと隠れていたヤマドリさんに近づきすぎたと気づきますが、ドキドキはしばらく止まりません。



ヤマドリはキジの仲間。雄と雌では形態が大きく異なります。雄は長い尾を持ち、大きなものでは125cmほどにもなります。一方、雌は淡い赤褐色で、大きさも約55cm程度。雄のような長い尾は持っていません。

ダジャレで名前と特徴を覚えよう！ レベル：★★★★☆

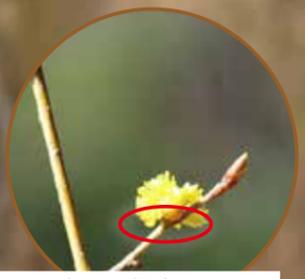
早春、いの一に花を咲かせるアブラチャンとダンコウバイ。まだ芽吹かない茶色の林の中で、どちらも黄色が眩しく輝きます。でもこの2種はとても良く似ていて、思わず「あれ、どっちだっけ!」ということが、よくあります。見分けるポイントは花序に柄（へい）があるかどうか。アブラチャンの花序には柄があり、ダンコウバイのそれには柄がありません。

そこで、覚え方。



「へーい、彼女！油、ちゃんとある？」
柄 花序 アブラチャン ある

アブラチャンは花序に柄があります



小笠原レンジャーの活躍を発信します！

東京都レンジャーは多摩地域に12名、小笠原地域に7名の合計19名配属されています。

しかし多摩と小笠原は約1,000km離れているため、レンジャー同士とはいえ顔を合わせる機会がなかなかないのが現状です。

この1月に多摩と小笠原の連携を深める目的で、多摩地区のレンジャー2名が小笠原にきました。

小笠原では、意見交換会、外来種駆除事業の現場視察、南崎線（母島）と初寝浦線（父島）の巡視などを行いました。

多摩と小笠原では環境が大きく異なります。レンジャーの業務内容についても異なる点も多くあります。しかし、東京の自然公園を維持管理していくという目的は同じです。東京の自然公園がよりよくなるように多摩と小笠原で連携をとっていきたいと思います。

4月から小笠原のレンジャーの報告を定期的に掲載します。小笠原からのニュースもぜひ楽しみに。



東京都レンジャーの業務

1. 観光客などへの利用マナーの普及、啓発
 2. 希少な動植物の密猟や盗掘の監視
 3. 利用者の安全確保のための遊歩道や案内板などの点検、応急補修
 4. 動植物の生息、生育状況など自然環境の継続的観測および監視
- その他、自然公園を訪れる皆様への自然解説、登山ルートや施設の案内

自然情報などの問い合わせ

高尾ビジターセンター	042-664-7872
奥多摩ビジターセンター	0428-83-2037
御岳ビジターセンター	0428-78-9363
小峰ビジターセンター	042-595-0400
山のふるさと村ビジターセンター	0428-86-2551